



## 2023年3月期 決算短信(日本基準)(連結)

2023年5月15日

上場会社名 株式会社はるやまホールディングス  
コード番号 7416 URL <http://www.haruyama.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 宏明

問合せ先責任者 (役職名) CFO (氏名) 西山 剛生

TEL 086-226-7101

定時株主総会開催予定日 2023年6月29日 配当支払開始予定日 2023年6月30日

有価証券報告書提出予定日 2023年6月30日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年3月期の連結業績(2022年4月1日～2023年3月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期	36,892	0.6	739		1,117		247	
2022年3月期	36,685	4.0	2,787		2,312		7,896	

(注) 包括利益 2023年3月期 264百万円 ( %) 2022年3月期 7,889百万円 ( %)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2023年3月期	15.10		1.0	2.2	2.0
2022年3月期	482.95		28.7	4.2	7.6

(参考) 持分法投資損益 2023年3月期 百万円 2022年3月期 百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年3月期	48,598	23,752	48.9	1,452.12
2022年3月期	51,132	23,487	45.9	1,435.95

(参考) 自己資本 2023年3月期 23,752百万円 2022年3月期 23,487百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2023年3月期	4,165	468	1,438	14,616
2022年3月期	1,823	162	2,204	12,357

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2022年3月期		0.00		0.00	0.00			
2023年3月期		0.00		15.50	15.50	253	102.6	1.1
2024年3月期(予想)		0.00		15.50	15.50		101.4	

### 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	1.6	400	45.9	700	37.4	250	1.2	15.28

注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2023年3月期	16,485,078 株	2022年3月期	16,485,078 株
----------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2023年3月期	128,204 株	2022年3月期	128,174 株
----------	-----------	----------	-----------

期中平均株式数

2023年3月期	16,356,885 株	2022年3月期	16,349,917 株
----------	--------------	----------	--------------

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1.経営成績等の概況(4)今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) キャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	3
(5) 継続企業の前提に関する重要事象等の解消について.....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(セグメント情報等) .....	12
(1株当たり情報) .....	12
(重要な後発事象) .....	12
4. その他 .....	13
役員の異動 .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により、経済活動の正常化に向けた動きがみられました。一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、為替の急激な変動等によって、原材料・エネルギー価格の高騰や物流コストの上昇が発生し、先行き不透明な状況が続いております。衣料品小売業界におきましては、新型コロナウイルス蔓延時の反動で売上が一時的に伸びたものの、物価上昇による先行き不安から、依然として厳しい経営環境のまま推移しました。

このような環境の下、当社グループにおきましては前期に引き続き『健康』をキーワードに差別化戦略を行いました。

商品面では、カジュアルな印象のビジネスウエアだけでなく、こだわりの1着を求めるお客様の声に寄り添いたいという思いから、柔らかな風合いと上品な質感の尾州産ウールを使用したスーツを発売いたしました。また、当社グループのワイシャツ部門におけるヒット商品である0秒アイロン（完全ノーアイロン）の『i-Shirt（アイシャツ）』が累計販売枚数800万枚を突破いたしました。当連結会計年度ではリサイクル素材を使用した生地『ECO i-Shirt（エコアイシャツ）』において、店頭陳列時の包装資材も紙製やバイオマス素材としリニューアルすると共に、従来の『i-Shirt（アイシャツ）』の特長を取り入れながらもコットンやウールの風合いを活かした『ハイブリッドアイシャツ』を発売し、お客様のニーズに沿った商品の開発を行ってまいりました。

当社グループでは今後も、お客様のニーズに沿った商品開発などを通して、顧客満足度の向上を目指してまいります。

店舗数に関しましては、グループ全体で7店舗新規出店した一方で、40店舗を閉店した結果、当連結会計年度末の総店舗数は378店舗となりました。

なお、当社グループは衣料品販売事業以外に広告代理業等を営んでおりますが、重要性が乏しいため記載を省略しております。

これらの結果、当連結会計年度におきましては、売上高368億9千2百万円（前年同期比0.6%増）となりました。利益面は、営業利益7億3千9百万円（前年同連結会計年度は営業損失27億8千7百万円）、経常利益11億1千7百万円（前年同連結会計年度は経常損失23億1千2百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益2億4千7百万円（前年同連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失78億9千6百万円）の結果となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の資産につきましては、主に現金及び預金が22億5千8百万円増加した一方で、未収入金が18億5千9百万円減少したこと、商品が17億9千5百万円減少したこと等の理由により、流動資産が13億9千3百万円減少いたしました。効率的な設備投資や減価償却費・減損損失により有形固定資産が5億2千2百万円減少したこと、繰延税金資産が3億3千5百万円減少したこと、差入保証金が5億2千7百万円減少したこと等で固定資産は11億4千万円減少しました。その結果、総資産は前連結会計年度末に比べて25億3千3百万円減少し、485億9千8百万円となりました。

負債につきましては、長期預り保証金が9千5百万円増加した一方で、借入金が10億9千4百万円減少したこと、支払手形及び買掛金が7億8千万円減少したこと等の理由により、前連結会計年度末に比べて27億9千8百万円減少し、248億4千6百万円となりました。純資産につきましては、親会社株主に帰属する当期純利益が2億4千7百万円あったことなどから、前連結会計年度末に比べ2億6千4百万円増加し、237億5千2百万円となりました。

(3) キャッシュ・フローの概況

当連結会計年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ22億5千8百万円増加し、146億1千6百万円となりました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は41億6千5百万円（前年同期は18億2千3百万円の使用）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益を7億4千万円計上したこと、売上債権の減少額が16億8千8百万円あった一方で、仕入債務の減少額が7億8千万円あったこと、減価償却費の計上が5億8千6百万円あったこと、減損損失の計上が4億1千5百万円あったこと、棚卸資産の減少額が18億3百万円あったことなどによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は4億6千8百万円（前年同期は1億6千2百万円の獲得）となりました。これは主に新規出店・既存店の改装等による有形固定資産の取得及び差入保証金の差入による支出が2億8千3百万円あったこと、システム刷新による無形固定資産の取得による支出が6億5千5百万円あった一方で、差入保証金の回収による収入が5億6千万円あったことなどによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は14億3千8百万円（前年同期は22億4百万円の獲得）となりました。これは主に長期借入による収入が24億3百万円あった一方で、長期借入金の返済による支出が34億8千9百万円あったことに加え、セールアンド割賦バック取引による支出が3億4千9百万円あったことなどによるものであります。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2021年3月期	2022年3月期	2023年3月期
自己資本比率（％）	54.6	45.9	48.9
時価ベースの自己資本比率（％）	19.2	17.0	16.1
キャッシュ・フロー対有利子負債比率（年）	△2.77	△7.71	3.03
インタレスト・カバレッジ・レシオ（倍）	△153.1	△50.5	107.0

（注）自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。
4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利息支払額については、キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4) 今後の見通し

今後の見通しとしましては、新型コロナウイルス感染症による行動制限の緩和等により、経済活動の正常化に向けた動きがみられる一方で、ロシア・ウクライナ情勢の長期化、円安の影響から大幅な物価上昇が継続しており、今後も不透明な経営環境が続くと見込まれます。このような環境の中、次期については、経営ビジョンである「地域に必要とされる店に」なるために商品・サービスの品質向上や、営繕等の店舗設備投資・システムの刷新・お客様の利便性を追求した店舗とネットの融合を含めた積極投資により、経営基盤の整備と強化を進め、ステークホルダーの皆様の信頼回復に努めてまいります。

具体的な次期の業績数値につきましては、売上高375億円（前年同期比1.6%増）、営業利益4億円（前年同期比45.9%減）、経常利益7億円（前年同期比37.4%減）、親会社株主に帰属する当期純利益2億5千万円（前年同期比1.2%増）を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等の解消について

当社グループは、前連結会計年度において、下記2件により継続企業の前提に関する重要な疑義を生じさせる事象又は状況が存在しているものと認識しておりました。

- ・前連結会計年度において、2期連続の営業損失、経常損失及び親会社株主に帰属する当期純損失、マイナスの営業キャッシュ・フローを計上していたこと。

- ・一部の金融機関と締結していたコミットメントライン契約（当連結会計年度末において当該契約は契約期間満了により存在しません）について、前連結会計年度末の純資産額が一定金額以上であることを約する財務制限条項が付されており、前連結会計年度末において上記財務制限条項に抵触していたこと。

当社グループは、当該状況を解消すべく、過度な売上伸長や規模拡大を迫わず、ダウンサイジングを進める中で採算が確保できるよう収益構造の改革に取り組んだ結果、営業利益7億3千9百万円（前年同連結会計年度は営業損失27億8千7百万円）、経常利益11億1千7百万円（前年同連結会計年度は経常損失23億1千2百万円）、親会社株主に帰属する当期純利益2億4千7百万円（前年同連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失78億9千6百万円）の結果となり黒字転換を果たすことができました。

以上の状況により、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせる事象又は状況は解消したと判断しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で連結財務諸表を作成いたしますが、国際会計基準(IFRS)の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針です。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,357,980	14,616,577
受取手形、売掛金及び契約資産	95,933	257,294
商品	10,957,619	9,162,568
貯蔵品	35,083	26,680
未収入金	4,667,576	2,807,623
その他	749,562	545,313
貸倒引当金	△57,712	△3,307
流動資産合計	28,806,042	27,412,749
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	29,095,845	28,002,325
減価償却累計額	△26,892,360	△26,117,895
建物及び構築物（純額）	2,203,485	1,884,429
車両運搬具	10,816	10,816
減価償却累計額	△10,816	△10,816
車両運搬具（純額）	0	0
工具、器具及び備品	3,824,653	3,535,380
減価償却累計額	△3,605,568	△3,369,505
工具、器具及び備品（純額）	219,085	165,875
土地	10,614,844	10,468,029
リース資産	4,657	4,657
減価償却累計額	△4,657	△4,657
リース資産（純額）	—	—
建設仮勘定	7,569	4,345
有形固定資産合計	13,044,984	12,522,680
無形固定資産		
のれん	76,583	—
その他	1,038,564	1,371,252
無形固定資産合計	1,115,147	1,371,252
投資その他の資産		
投資有価証券	507,034	519,805
長期貸付金	368,309	450,630
繰延税金資産	939,443	603,783
差入保証金	6,109,514	5,581,662
その他	242,911	165,422
貸倒引当金	△1,055	△29,604
投資その他の資産合計	8,166,158	7,291,698
固定資産合計	22,326,290	21,185,630
資産合計	51,132,333	48,598,380

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当連結会計年度 (2023年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,784,617	5,004,080
短期借入金	600,000	600,000
1年内返済予定の長期借入金	3,269,310	3,486,015
リース債務	2,861	2,861
未払金	2,226,062	1,756,188
未払法人税等	116,358	152,931
ポイント引当金	43,512	35,312
契約負債	553,751	388,675
賞与引当金	5,800	5,050
店舗閉鎖損失引当金	156,335	2,250
資産除去債務	721,357	95,416
その他	1,098,537	1,531,246
流動負債合計	14,578,504	13,060,028
固定負債		
長期借入金	9,452,823	8,141,738
リース債務	7,754	4,892
退職給付に係る負債	1,549,163	1,564,203
資産除去債務	1,299,454	1,575,403
長期預り保証金	360,436	455,589
その他	396,513	44,372
固定負債合計	13,066,146	11,786,199
負債合計	27,644,650	24,846,228
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,991,368	3,991,368
資本剰余金	3,862,125	3,862,125
利益剰余金	15,777,916	16,024,973
自己株式	△138,829	△138,842
株主資本合計	23,492,579	23,739,624
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,792	12,646
繰延ヘッジ損益	895	△118
その他の包括利益累計額合計	△4,897	12,528
純資産合計	23,487,682	23,752,152
負債純資産合計	51,132,333	48,598,380

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
売上高	36,685,290	36,892,858
売上原価	15,928,890	14,888,929
売上総利益	20,756,399	22,003,929
販売費及び一般管理費	23,544,015	21,264,180
営業利益又は営業損失(△)	△2,787,616	739,748
営業外収益		
受取利息	5,625	5,348
受取配当金	6,390	8,468
店舗閉鎖損失引当金戻入額	113,384	101,932
受取地代家賃	419,884	474,027
助成金収入	104,904	2,875
その他	90,441	47,486
営業外収益合計	740,631	640,138
営業外費用		
支払利息	36,589	39,165
賃貸費用	196,138	198,987
その他	32,624	23,806
営業外費用合計	265,352	261,960
経常利益又は経常損失(△)	△2,312,337	1,117,927
特別利益		
投資有価証券売却益	77,509	38
固定資産売却益	54,300	23,114
新株予約権戻入益	5,530	—
受取補償金	—	200,000
特別利益合計	137,340	223,153
特別損失		
投資有価証券売却損	—	43
固定資産除売却損	167,809	162,225
減損損失	1,797,945	415,172
店舗閉鎖損失引当金繰入額	115,523	—
貸倒引当金繰入額	—	23,034
その他	5,780	—
特別損失合計	2,087,059	600,475
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△4,262,056	740,604
法人税、住民税及び事業税	135,586	165,437
法人税等調整額	3,498,523	328,110
法人税等合計	3,634,110	493,547
当期純利益又は当期純損失(△)	△7,896,166	247,057
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△7,896,166	247,057

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
当期純利益又は当期純損失 (△)	△7,896,166	247,057
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,639	18,439
繰延ヘッジ損益	843	△1,013
その他の包括利益合計	6,483	17,425
包括利益	△7,889,683	264,483
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△7,889,683	264,483

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位: 千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,991,368	3,862,125	23,939,386	△161,653	31,631,226
当期変動額					
剰余金の配当			△253,205		△253,205
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			△7,896,166		△7,896,166
自己株式の取得				△34	△34
自己株式の処分			△12,098	22,859	10,761
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					—
当期変動額合計	—	—	△8,161,470	22,824	△8,138,646
当期末残高	3,991,368	3,862,125	15,777,916	△138,829	23,492,579

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△11,432	51	△11,380	7,007	31,626,852
当期変動額					
剰余金の配当			—		△253,205
親会社株主に帰属する当期純損失 (△)			—		△7,896,166
自己株式の取得			—		△34
自己株式の処分			—		10,761
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	5,639	843	6,483	△7,007	△523
当期変動額合計	5,639	843	6,483	△7,007	△8,139,169
当期末残高	△5,792	895	△4,897	—	23,487,682

当連結会計年度(自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	3,991,368	3,862,125	15,777,916	△138,829	23,492,579
当期変動額					
剰余金の配当					—
親会社株主に帰属する当期純利益			247,057		247,057
自己株式の取得				△13	△13
自己株式の処分					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					—
当期変動額合計	—	—	247,057	△13	247,044
当期末残高	3,991,368	3,862,125	16,024,973	△138,842	23,739,624

	その他の包括利益累計額			新株予約権	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ損益	その他の包括利 益累計額合計		
当期首残高	△5,792	895	△4,897	—	23,487,682
当期変動額					
剰余金の配当			—		—
親会社株主に帰属する当期純利益			—		247,057
自己株式の取得			—		△13
自己株式の処分			—		—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	18,439	△1,013	17,425	—	17,425
当期変動額合計	18,439	△1,013	17,425	—	264,469
当期末残高	12,646	△118	12,528	—	23,752,152

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前連結会計年度 （自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）	当連結会計年度 （自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	△4,262,056	740,604
減価償却費	823,469	586,832
減損損失	1,797,945	415,172
のれん償却額	114,874	76,583
ポイント引当金の増減額（△は減少）	△437,479	△8,200
貸倒引当金の増減額（△は減少）	155	△25,854
店舗閉鎖損失引当金の増減額（△は減少）	△244,050	△154,085
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	64,820	15,039
受取利息及び受取配当金	△12,016	△13,816
支払利息	36,589	39,165
受取補償金	—	△200,000
長期貸付金の家賃相殺額	7,857	12,094
投資有価証券売却損益（△は益）	△77,509	4
固定資産除売却損益（△は益）	△29,223	68,317
売上債権の増減額（△は増加）	△771,538	1,688,671
棚卸資産の増減額（△は増加）	1,728,757	1,803,454
仕入債務の増減額（△は減少）	△982,708	△780,536
その他	575,939	△21,227
小計	△1,666,173	4,242,219
利息及び配当金の受取額	6,978	6,713
利息の支払額	△36,132	△38,920
補償金の受取額	—	100,000
法人税等の支払額	△135,524	△145,425
法人税等の還付額	7,700	981
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,823,150	4,165,567
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の売却による収入	226,516	287
有形固定資産の取得による支出	△206,878	△240,836
有形固定資産の売却による収入	205,138	83,114
無形固定資産の取得による支出	△329,733	△655,598
信託受益権の売却による収入	—	53,035
長期貸付けによる支出	△1,800	△1,820
長期貸付金の回収による収入	2,948	2,918
差入保証金の差入による支出	△84,482	△42,764
差入保証金の回収による収入	612,269	560,479
関係会社貸付けによる支出	—	△15,000
その他	△261,036	△212,745
投資活動によるキャッシュ・フロー	162,941	△468,928
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	4,103,805	2,403,960
長期借入金の返済による支出	△2,377,366	△3,489,077
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△7,810	△2,861
セールアンド割賦バック取引による収入	1,050,096	—
セールアンド割賦バック取引による支出	△319,620	△349,903
自己株式の取得による支出	△34	△13
ストックオプションの行使による収入	9,284	—
配当金の支払額	△253,431	△147
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,204,921	△1,438,042
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	544,712	2,258,596
現金及び現金同等物の期首残高	11,813,268	12,357,980
現金及び現金同等物の期末残高	12,357,980	14,616,577

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

前連結会計年度（自 2021年4月1日 至 2022年3月31日）及び当連結会計年度（自 2022年4月1日 至 2023年3月31日）

当社グループにおける報告セグメントは衣料品販売事業のみであり、開示情報としての重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

（1株当たり情報）

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
1株当たり純資産額	1,435円95銭	1,452円12銭
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失(△)	△482円95銭	15円10銭

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)	当連結会計年度 (自 2022年4月1日 至 2023年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△7,896,166	247,057
普通株主に帰属しない金額 (千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純損失(△) (千円)	△7,896,166	247,057
普通株式の期中平均株式数 (株)	16,349,917	16,356,885

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 役員の変動

(1) 代表取締役の変動

該当事項はありません。

(2) その他の役員の変動

・新任取締役候補

社外取締役 中川 雅文

・新任監査役候補

(非常勤) 監査役 櫻田 憲司

(注) 櫻田 憲司は、社外監査役の候補者であります。

・退任予定監査役

(非常勤) 監査役 中川 雅文

(3) 予定日

2023年6月29日